

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	森の寺子屋事業		
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 絆 JAPAN 諏訪郡原村 16267-521		
事業区分	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ハード・ソフト		
総事業費	2,128,463	円 (うち支援金 :	997,000 円)

事業内容

不登校の小中学生を対象に、自然環境の中で自然体験、遊び、救急救命、ボランティア体験を通じて学びの場を提供し、集団生活や人間関係の構築、コミュニケーション能力の向上に寄与し、子ども達の健全育成に繋げた。又、災害支援で培ったノウハウを生かし、防災に対する意識向上や、災害時における行動や対応技術等を親子で学んで貰い、地域での防災意識の向上に寄与し 健全に育って貰うことを目的とし、様々な学びを提供した。



【目標・ねらい】

- ① 自然環境の中での自然体験
- ② 遊び・救命救急・ボランティア体験を通しての学び
- ③ 集団生活や人間関係の構築
- ④ コミュニケーション能力の向上

※自己評価 【 A 】

【理由】玉川小学校・湖東小学校に於いて、森の寺子屋参加は登校として扱って貰える様になった。最初の参加は少人数で有ったが、最終的に登録者が25名に増え、常時10~15名の参加が有った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

支援金を活用して 夫々の専門分野のエキスパートを呼び 子ども達にその経験から新たな学びを提供して貰った。

当初 なかなか人見知りだった子どもが、参加を重ねる事により 人の輪に溶け込み多くの友達を創り出す様に成った。参加児童が、自分達でルールを決め 遊びやゲームを創作した。

自然環境の中で伸び伸び活動し、創意工夫や積極的参加が見られた。

防災キャンプを開催して防災に対する啓蒙が出来た。

雨天及び冬場でも活動出来る施設の整備が出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

不登校の子どもを対象に、自然環境の中で自然体験、遊び、救急救命、ボランティア体験等を通じて学びの場を提供し、集団生活や人間関係の構築、コミュニケーション能力向上に寄与し、子ども達の健全育成に繋げる。

又 他団体との交流や地域との交流、保護者向けワークショップを行い、社会的視野の向上に寄与する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある